



令和4年1月31日

報道機関 各位

城西国際大学観光学部で「地域の魅力プレゼン発表会」

新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催

日時 1月26日(水)午前9時40分から正午まで
会場 城西国際大学観光学部 キャンパス内 太海ホール
主催 鴨川市・鴨川市教育委員会・城西国際大学観光学部
目的 鴨川市で地域観光について学んだ学生たちが、その成果として地域の魅力や潜在的な資源、それらを有効に活用するための方策や問題点・課題をプレゼンテーションすることで、将来の「観光地鴨川」発展の一助になることを目的とする。

プレゼン内容

第1発表:10:00～

「旅マエ」×「旅ナカ」×「旅アト」着地型観光企画の実践事例@鴨川～3つの「目」のかけ算をやってみた結果のご報告～

発表者:山本剛ゼミ 2名(水野宏昭、藤井陽菜子 3年)

第2発表:10:20～

清澄・四方木地区活性化の取り組み着地型観光の実践「清澄・四方木アドベンチャーツアー」

発表者:内山達也ゼミ 4名(宮澤光太、荒井勇向、馬澤、菊池大輝 3年)

第3発表:10:40～

南房総市観光協会との連携「鴨川市太海地区鰹節店の体験ツアー」の作成過程で明らかになった、鴨川市と鰹節の知られざる歴史

発表者:柴崎小百合ゼミ 3名(石嶺尚子、鳥山拓望、谷内瑛紀 3年)

第4発表:11:00～

「健常者による電動車椅子の観光利用に関する研究」

そのための活動 2021 新潟県上越市の実証実験事例と北海道上川郡上土幌町における検討事例の紹介

発表者:金子祐介ゼミ 3名(高橋昂哉、前田奈央 3年 坂田凜太郎 2年)

第5発表:11:20～

卒業生が語る鴨川の思い出

発表者:4名(李 紫萱 2018年卒、林 韻 2014年卒、葉 昊旻 2012年卒、鄭 氷 2011年卒)

本来であれば、一般の聴講者を対象に80名の定員を設け、同施設内のAVホールで開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの開催となりました。

この日のために、学生たちは5つのグループに分かれ、これまで学んできた地域の魅力を自分たちの目線で研究し、今後の観光地鴨川市のあるべき姿や、課題、未来に向けた発想を発表。具体的には、「着地型観光企画の実践事例」、「清澄・四方木アドベンチャーツアー」、「市と鯉節の歴史」、「健常者の電動車いすの観光利用」などをテーマに、ツアープランの企画・実践など、観光地鴨川にキャンパスがあるからこそできる方法で研究し、さらに魅力的な観光地にするための考察をまとめていました。オンラインで視聴していた参加者からは、「鴨川の観光地としてのポテンシャルの高さを改めて感じた」、「長年このまちで暮らしているが初めて知ることも多く、とても参考になった」などの声が聞かれました。発表会の最後には、同大学の留学生として鴨川で生活していた4人の卒業生から届いたビデオメッセージも紹介。中国やシンガポールなどそれぞれの母国で社会人として頑張っている皆さんは一緒に「鴨川の美しい自然や優しく接してくれた人たちの笑顔をよく思い出します」、「新型コロナウイルスが落ち着いたら、鴨川に帰りたい」と話していました。



▽卒業生のビデオメッセージ



問い合わせ

鴨川市生涯学習課 社会教育係 担当:岡安

TEL:04-7094-0515 FAX:04-7094-0531